

連載

第2回

ことばの教室より

「保育園・教育総合センターは今」

ことばの教室（言語障害通級指導教室）は一九八五年（昭和六十年）に開設され、今年で二十二年になります。

教室の利用者は、年々増加の傾向にあり、今までに延べ千五百人を超え、葉山町でのセンター的役割をはたしています。ことばの教室では、

- 発音に誤りがある（はつきりしない）
- なめらかに話せない
- ことばの数が少ない
- 耳のきこえに不安がある
- コミュニケーションがうまくとれない

等、子どもたちの困り感に寄り添いながら、教育的ニーズに応じた指導を行っています。



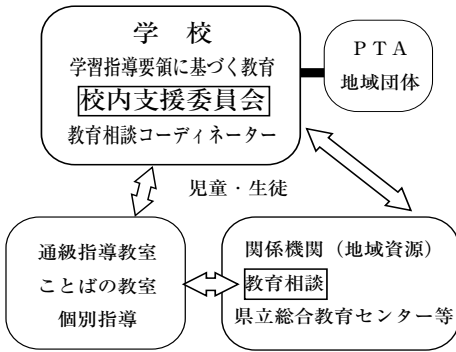
ことばの教室 プレイルーム

現在、学校では「支援教育」の考え方に基づいて、支援の必要な子どもたちに適切な指導が行われています。

ことばの教室でも、コミュニケーションやソーシャルスキルを学ぶ場として、学校と連携を図りながら個別指導やグループ指導を行っています。

今後関係機関（学校や教育関係・福祉関係・医療関係等）と連携を密にして、豊かな人間関係を作り、自己肯定感を育てながら、子どもたちが生き生きと家庭生活や学校生活を送ることができるように支援していきたいと思

学校教育のシステム（イメージ）



風力・太陽光発電設備を3校に設置

～児童生徒及び地域住民の環境意識の広がりを期待して～



風力・太陽光発電装置



発電表示パネル

今年（平成十九年）

五月、上山口小学校・一色小学校・葉山中学校の三校に写真の太陽追尾式ハイブリッド型発電設備と蓄電量表示装置が設置されました。

この発電装置はその時々々の風力・太陽光等の気象条件に呼応して発電し、その蓄電量を数値で表示するものです。児童・生徒が、風力や太陽光によって電気が作られることを具体的に感じ取ることを通して、自然の偉大さ、自然を大切に

する心と科学的な見

方・考え方を育むことを主な目的とするものです。理科や総合的な学習の時間における環境学習の一環として、自ら身近な自然について問題を見出し、見通しをもった観察・実験を通して問題解決の能力を育てるとともに、学習内容を日常生活と関連付けて考える資質の向上に役立てることが期待されます。

設置にあたっては、教育目的として設置する場合、その費用の大半をグリーン電力基金が助成することになっています。この装置によって作られた電気を、校門緑地の外灯用等にも利用し、来校者や夜間の学校施設利用団体の安全と防犯に役立てたり、災害時の非常用電源としてラジオ・携帯電話の充電等に利用すること等を通して、保護者や地域住民への環境意識の広がりも期待されるということです。

# 葉山だからできる豊かな学びにむかって

## 『葉山町教育総合プラン』解説(7)

### 記録集「戦争体験を語り継ぐ」を発刊



いただいた体験談をもとに、記録集『戦争体験を語り継ぐ』を発刊することができました。ご投稿くださった地域の皆様をはじめ、資料提供等、様々なご協力をいただいたNPO法人葉山まちづくり協会・国際地学協会・川崎市平和館・平成十八年度社会科学教材開発研究会の皆様方に厚く御礼申し上げます。

葉山町教育総合プラン」の基本理念Ⅱ「心豊かに共生できる人間をめざして」3 地域・世代間交流を促進しよう」の中に「世代を超えた学習活動を盛んにすることで、地域に生きる人同士が知り合い、認め合う体験を重ねていくことは、共に生きることの楽しさが強く実感できるものと期待される」という一文があります。

このプランを具現化する事業の一つとして、平成十八年七月一日発行の「いそぎく」にて、小・中学生を対象とした平和教育副教材作成のための「戦争体験談」の募集をお願いしたところ、町民の皆様よりたくさんのご投稿をいただきました。この度、お寄せ

本記録集の一遍一遍には、当時の人々の労苦や亡くなられた方々の無念の思いが深く刻み込まれています。六十数年前の国民の労苦を風化させないために、また、今の世代に引き継がれた平和を維持発展させるためにも「戦争体験の語り継ぎ」を今後も継続する必要があります。

町内の学校では、これまでも平和を考えるために、地域の方々の戦時下の生活や軍隊での体験を児童生徒に語っていたり、また、地域の尊厳を今回発刊された記録集を副教材として併せて活用することで「平和の尊厳」や「命の大切さ」についての学習がより深まることが期待されます。

## 困難を乗り越え強く生きる濱宮郷詞氏に共感・感動 「三つ子のパパは車椅子で奮闘中！」 葉山町教育研究所公開講座から

去る二月十六日、葉山町福祉文化会館大ホールにおいて、濱宮郷詞氏を講師に迎え、葉P蓮との共催による葉山町教育研究所公開講座が開催されました。

濱宮氏は陸上競技で将来を嘱望されていた高校三年生の春、棒高跳びの練習中に首の骨を折り、手足が動かない車椅子生活になりました。四肢麻痺という重度の障害を負いながら、現在三児の父親となり、育児に奮闘中という方です。

講演では、ご自身の困難の数々を「僕の人生、おもしろいですよ」の一言で笑い飛ばしながら紹介し、限界を作らず前向きにチャレンジすること、そういう親の後ろ姿を見て子どもは育つこと等を、ユーモアたっぷりに、そして熱く語られました。

- ◆ 参加者からは
- ◆ 子育てがガンバロウ、というパワーをいただけた気がします。
- ◆ 子どもに接する自分の姿について改めて考えさせられました。
- ◆ 子どもたちに聞かせたい話でした。等の感想がたくさん寄せられました。



## 葉山町教育研究所相談電話

# ☎046-875-7296

子育ての不安や悩みに関して相談を行っています。

一人で悩まずにお気軽にご相談ください。  
相談内容は、不登校・学習進路・親子関係・友人関係・健康などです。

●相談時間…午前9時から午後4時30分まで ●相談曜日…月曜日～金曜日(祝日・振り替え休日を除く)